



お話しいただいたのは
近藤 嘉人先生

vol.195

こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ！」



歯を育てるとは?!

10才の男の子。「今回もむし歯は見当たらないよ」。健診結果を本人に伝えると、「ヨッシャー!」とガッツポーズ。テニスで日焼けした顔に、白い歯がカッコイイです。

保育園の歯科健診で指摘された乳歯のむし歯を治療して以来、家での歯磨きに時間をかけるようになり、フッ素塗布など歯科での予防を欠かさず続けてきた結果ですね。

感染ではない?

歯科では、むし歯は「感染症」というよりは「生活習慣病」である、との考え方が主流になっています。

むし歯の原因には菌が関わっているのですが、食べ物を食べたり、親しい人と触れ合ったりする以上、さまざまな菌が口の中に入るのを避けることはできません。

菌が口の中に入ったからむし歯になるのではなく、「甘いものを多く食べる」「お菓子をダラダラ食べて炭酸やジュースが好き」などの生活習慣が続くとむし歯が発症することがわかっていま



す。ということは、その逆のことはしていけば、発症リスクを下げることができます。糖尿病などと同じことなのです。

ペンギンコロニー

子どもの生活習慣をコントロールするカギは、周りの大人が握っていきま。食事や間食に気をつけて、自分でできるようになるまでは大人がフロスも使って、毎日決まった時間に仕上げ磨きしていくのが有効です。

また、歯科の定期健診も有効です。健診ではむし歯の確認だけでなく、生活習慣も見渡したお話をします。男の子がテニスを始めたとき、スポーツ飲料は控えて、水やお茶などでゆすぐようにアドバイスしました。男の子はそれを実践しています。

ある研究によれば、最もむし歯ができる確率を下げるのは、「定期的な歯科健診を受けること」だそうです。健診を受けることで健康についての関心が高くなり、自然と生活習慣が整うでしょう。

子どもを中心に社会が見守る、そんな姿は親ペンギンがコロニーを作っ。て寒さや外敵から子どもを分け隔てなく守っている様子と重なります。私たちも健診で育児に役立つ情報をお伝えして、子どもを取り囲む輪

の中にいたいと思います。

フッ素

最近、PFAS(ピエーフラス)という有機フッ素化合物の問題が取り上げられています。歯科医院で塗布するフッ素や歯磨剤に含まれるフッ素はPFASとは全く異なる無機フッ素化合物であり、安全です。

不安がある方は、歯科医師に確認してください。

情報クリップ

『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』が全国の書店で絶賛発売中です!詳しくは「絵本の日」【公式】サイトまで、「絵本の日」で検索できます。今月も待合室で絵本を楽しむ「げんきわくわくおはなし会」を開きます。医院受付に参加お問い合わせください。日程は医院HPに掲載しています。

こどもの歯科

日曜日も診察しています

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 9:00~18:30
(昼休み12:30~14:00)
【休診】木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
☎092(551)8080
http://kodomonoshika.com

